

2021年1月8日

名古屋市長 河村たかし様

日本共産党名古屋市議員団  
団長 田口一登

## 感染拡大を抑え込むために社会的検査の実施を求める申し入れ

新型コロナウイルス感染拡大防止に、昼夜を分かたずご奮闘されている市職員はじめ関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の「第3波」により、「医療崩壊」の危機が現実のものとなっています。12月1日～1月3日の救急出動件数は外出自粛もあり、同月前年比の85%ですが、搬送先の医療機関が決まらず現場待機を余儀なくされる搬送困難件数は同期間で105件、前年の2倍という危機的状況です。

軽症者を受け入れる宿泊施設では、一日に1～3人が急変し医療機関へ搬送されると伺っています。東部医療センターはじめ市内医療機関で集団感染が続いており、とりわけ重症化リスクの高い高齢者施設では、昨年10月末以降の2か月余りの間に、10施設で集団感染が起きています。このままでは深刻な医療崩壊を引き起こしかねません。救える命が救えないという事態は、絶対に防がなくてはなりません。

人口あたりのPCR等検査件数は、感染が拡大している大都市の中でも名古屋市は低い水準にあります。

従来の姿勢を根本的に転換し、軽症・無症状の感染者を発見すること、とりわけ重症化リスクの高い場所で集団感染を起こさないために、医療・介護・障害者施設等での一斉・定期的な社会的検査をこの局面でこそ広げるべきです。神戸市、北九州市、広島県、福岡県等の自治体では社会的検査が始まっています。

名古屋市が感染者の把握、保護、追跡を徹底し新たな感染拡大を抑え込むため、下記の対応を早急に行うことを求めます。

### 記

1. 躊躇なく直ちに医療機関・高齢者施設等の職員及び入院患者、入所者等に対する一斉・定期的な社会的検査を実施すること
2. 社会的検査については、検体採取、検査、報告を保健センターの業務とせず、一括して実施できるよう、民間検査機関等の協力も含め、実施体制を作ること

以上